

令和2年度『上峰町教育の基本方針と主要施策』

1 はじめに

平成から令和へと新しい時代の幕が開けた我が国は、社会環境が大きく変化しこれまで以上に厳しい挑戦の時代を迎えている。教育の分野においても、高い志と理想を持って困難に立ち向かい克服していくための力である「生きる力」を育むことがこれまで以上に求められている。そのために、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の3つの要素をバランスよく育むとともに、一人一人が自己の持つ個性や能力を最大限に発揮し、様々な可能性を伸ばす教育ができるよう取り組んでいくことが必要である。

特に、小学校においては10年ぶりの新学習指導要領全面実施の年となる。中学年からの外国語教育の導入、プログラミング教育の必修化など新しい学習指導要領のもと、社会の変化を見据えた新たな学びへと進化していく。本町において成果が出ている「小学校オンラインによるマンツーマン英会話」や「スタディクーポンを活用した中学校放課後補充学習」について継続して取り組んでいくとともに、町費雇用の英語、理科、数学専門講師の小・中学校への配置、特別支援教育支援員の配置についても継続して推進していく。不登校及び不登校傾向の児童生徒の居場所づくり、学習の場保障に向け適応指導教室の整備に取り組んでいく。さらに、小学校正門周辺の安全・安心を確保する環境整備に取り組むとともに、老朽化している施設の適正管理に努めていく。

スポーツ界では、2020東京オリンピックへ向け「すべての人が自己ベストを目指し」、「一人ひとりが互いを認め合い」、「そして、未来につなげよう」を3つの基本コンセプトに様々な準備が進められている。さらに来る令和5年、国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会が佐賀県で開催される。上峰町においては「スポーツ振興宣言の町」として、競技力の強化及び支援活動に積極的に取り組んでいく。特にスポーツを「する」「育てる」「観る」「支える」といった多様な楽しみ方ができるスポーツ文化の裾野を広めるとともに、トップアスリート育成を目指すSAGAスポーツピラミッド(SSP)構想の上峰版を具体化し、実践していく。一方、老朽化している体育施設について、中心市街地の再開発に合わせて協議を進めていただいているところであり、多くの皆様の知恵を結集し、時代が求める新しい知識や技術を取り込めるよう推進していく。

教育行政については、GIGAスクール構想をはじめとするICT利活用教育の更なる推進、次世代のトップアスリート育成を目指すSAGAスポーツピラミッド構想などソフト面、ハード面ともに大きな飛躍を目指していく。引き続き、町民の皆様のご期待と信頼に沿えるよう努めていく。

2 めざす姿

「人が輝き文化が薫るまち上峰」～ふるさとを愛し、社会を支える自覚と気概あふれる人づくり～

3 主要な教育施策

(1) 美しく安全な生活環境のまち

① 交通安全・防犯

ア 交通安全意識の高揚

- ㊦ 通学バスにおける乗車マナーの指導
- ㊧ 上級生及び新入学児童への交差点の渡り方などの体験指導

イ 地域ぐるみの安全環境づくり

- ㊦ 町の防犯パトロールと連携した地域ぐるみの安全環境づくりの推進

KSSP(上坊所青少年サポートパトロールの会)の地区パトロール、上峰町商工会青年部子供見守り隊、各地域の皆様による登校指導、老人クラブ等ボランティア団体や保護者による小学校内巡回、地域のおじさんおばさん・110番の家活動、NPO法人青色防犯パトロール車の追加導入

② 消防・救急・防災

ア 防災・減災体制の強化

- ㉞ 防災教育指定安全教育における体験学習や防災講話などによる防災意識の向上
- ㉟ 小学校での大雨対策避難訓練の実施
- ㊱ 小・中学校における消防署の指導による地震・火災避難訓練の実施

(2) 人が輝き文化が薫る教育・文化のまち

① 学校教育

ア 生きる力を育む教育活動の推進

- ㉞ 小中連携教育推進による「生きる力」を育む教育活動の一層の推進
- ㉟ 会計年度任用職員として学校長経験者の教育指導主事を配置
- ㊱ 小学校外国語教育導入に対応する町費英語講師の配置
- ㊲ 電子黒板を活用したオンライン英会話の小学3、4年生への拡充
- ㊳ マンツーマンによるオンライン英会話の年間20コマ小学5、6年生での実施
- ㊴ 小学校への町費理科・英語講師の配置、中学校への町費数学・英語講師の配置
- ㊵ 中学1年生及び3年生対象のスタディークーポンを活用した放課後補充学習の実施
- ㊶ 小・中学生の英語力向上を目的とした英語検定受験料の補助の継続実施
- ㊷ 学校と地域が連携した中学校での地域未来塾、小学校での放課後子供教室の継続実施
- ㊸ 不登校及び不登校傾向の児童生徒の居場所づくりに向けた適応指導教室の開設
- ㊹ スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの町費での配置時間数上乘せ
- ㊺ 個別的な指導を行う通級指導教室の継続開設
- ㊻ きめ細かな自立的支援のため小学校に8名、中学校に4名の特別支援教育支援員配置
- ㊼ 入学時健康診断、小・中学校児童生徒、教職員を対象に各種検診の実施
- ㊽ 三養基・鳥栖地区歯科医師会と連携した小・中学校でのフッ化物洗口の継続実施
- ㊾ 自校式学校給食、給食費無償化、おいしい給食など安全安心な学校給食の提供と充実
- ㊿ 保護者の教育費負担軽減及び子育て支援のための小学校入学祝い金の支給
- ㊱ 子どもの貧困の連鎖防止に向けた要保護・準要保護就学援助制度の周知・活用の推進

イ 学校施設・設備の整備充実

- ㉞ 安全安心の確保に向けた小学校正門周辺の整備
- ㉟ 運動能力向上及び安全で魅力的な校庭を目指した小学校中庭への人工芝の敷設
- ㊱ 生徒増に伴う中学校自転車小屋の増設工事
- ㊲ 2クラス同居の環境改善に向けた中学校特別支援教室の間仕切り設置工事
- ㊳ 学校施設適正管理のため上峰町公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定
- ㊴ 小学校周辺へのスクールゾーン指定設置、通学路のカラー舗装化
- ㊵ 佐賀県子どもを見守る防犯カメラ設置事業への取組
- ㊶ 通学時の安全確保のため中学生への通学用ヘルメット、小学生への防犯ブザー支援

② 生涯学習

ア 生涯学習関連施設の適正管理・利用促進

- ㊦ 町民センターの適正管理及びサービス向上による利用促進
- ㊧ 町民センターホールの音響設備機能向上改修
- ㊨ 文化協会との連携を強化し、自主的なサークル活動をより一層推進
- ㊩ 子育て世代や勤労者、高齢者のニーズにも対応した学習や研修の企画・運営
- ㊪ ふるさと学館の町民ニーズに応じた蔵書の充実、読み聞かせ等の企画・運営
- ㊫ 生涯学習拠点としての機能強化と幅広い年齢層へのサービス提供
- ㊬ 障害者就労支援施設ふれあい館との日常清掃業務委託による障害者雇用の推進
- ㊭ 小・中学校図書室との連携による「家読」の促進
- ㊮ 各家庭での読書習慣の定着に向けたブックスタート事業の継続実施

イ 特色ある講座・教室の開催

- ㊦ 健康づくりや芸術活動、料理教室など多様な内容に取り組む公民館事業の展開
- ㊧ 幅広い教養や生きがいつくりを支援する魅力ある生涯学習講座の開催

③ 青少年健全育成

ア 家庭・地域の教育力の向上

- ㊦ 地域伝統行事やレクリエーション活動等による家族や地域の共同体験充実
- ㊧ 青少年の自主性や社会性を育む世代間交流の場の充実

イ 青少年の体験・交流活動等への参画促進

- ㊦ 青少年サマーキャンプ等による野外活動や異学年学習活動の機会の提供
- ㊧ 責任感・自主性・連帯感などを学ぶと共に社会に貢献できる人材育成の推進

④ スポーツ

ア 地方スポーツ推進計画の策定検討

- ㊦ 「スポーツ基本法」に基づく、「上峰町スポーツ推進計画」策定の検討

イ スポーツ施設の整備充実

- ㊦ テニスコート照明交換をはじめ体育センターなど各種スポーツ施設の適正な維持管理
- ㊧ 中央公園管理運営体制の充実など施設の有効活用
- ㊨ 中心市街地活性化事業に係る複合型体育施設の規格・規模等の意見集約と整備推進

ウ スポーツ団体・指導者の育成

- ㊦ 体育協会をはじめとする自主的なスポーツ団体の育成・支援
- ㊧ 県民スポーツ大会や上峰町体力づくり体育大会への積極的な参加促進
- ㊨ スポーツ指導者の発掘・資質向上を図り町民の自主的なスポーツ活動の活性化促進
- ㊩ 総合型スポーツクラブ「友遊スポーツかみみね」の運営やクラブリーダー育成の支援

エ 多様なスポーツ活動の普及促進

- ㊦ スポーツ情報の広報・啓発、活躍する町民のPR広報を目的とした広報会議の活用
- ㊧ 山歩きやトレイルラン、親睦と交流の場として鎮西山ふれあいの森フェスタの開催
- ㊨ 町民の競技力向上や競技スポーツの振興、文化（する、育てる、観る、支える）の裾

野拡大を目指した「上峰版スポーツピラミッド構想」とその具現化

- ㊤ 国民スポーツ大会や全国大会出場を目指す上峰在住トップアスリートの育成・支援
- ㊦ 「上峰版スポーツピラミッド構想」での大会誘致やプロ講師招聘スポーツ教室の開催
- ㊧ 国交省「ウォークブル推進都市」に向けた『鎮西山などの既存資源を生かし歩くことから始めるまちづくり』の推進

⑤ 文化芸術・文化財

ア 文化芸術の鑑賞機会と発表機会の充実

- ㊦ 上峰町文化協会との連携強化による町民文化祭等の内容充実
- ㊧ NHKや宝くじ、企業の文化公演事業等の活用による鑑賞する機会の充実

イ 文化発信拠点整備の検討

- ㊦ 音楽・絵画・工芸等に携わる活動家の町内活動による文化発信拠点（メディアテイク）整備の検討

ウ 文化財の保存・活用

- ㊦ 指定文化財の適正な保存及び維持管理
- ㊧ 文化財及び埋蔵文化財の調査体制充実による発掘調査等の推進及び保存・活用
- ㊨ 八藤丘陵太古木の地下水位観測、水質調査による保存環境の確認・維持
- ㊩ 将来の調査公開を視野に入れた太古木の保存活用計画策定を受け、八藤丘陵太古木の保存活用の整備を図る。
- ㊪ 米多浮立や西乃宮浮立などの伝統文化保存・継承活動に対する補助的支援
特に、米多浮立の前牟田産「天衝米」が今年度不作であったため引き続き支援に努める
- ㊫ 古墳公園や堤土墨跡歴史公園の適正な管理運営
併せて「都紀女加王墓と古墳公園を守る奉仕団」活動や町地酒「鎮西八郎」の醸造支援

エ 町史の編さん・発刊

より多くの人々が本町の貴重な歴史・文化や風土に親しめる機会を増やし、次世代に継承していくため、町史編さん基本計画・執筆要領に基づいて原稿の確認、編集、校正等を行い、「上峰町史」を令和2年度に発刊する。